

注3

大学番号：私立165

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

福井工業大学 ｽﾎｰﾙ健康科学部 ｽﾎｰﾙ健康科学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金井学園

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名	庶務課長	ヤマモト 山本	シンイチロウ 新一郎
	学務課長	ヤマダ 山田	ノリタカ 典孝

電話番号 0776-29-7864

0776-29-7867

（夜間） 同上

F A X 0776-29-7891

e-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp

kyomu-u@fukui-ut.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツ健康科学部

＜スポーツ健康科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . (省略)	17
4. 既設大学等の状況 (省略)	18
5. 教員組織の状況 (省略)	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人金井学園

(2) 大 学 名

福井工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒910-8505

福井県福井市学園3丁目6番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カナイ ケン) 金 井 兼 (平成4年12月)		
学 長	(モリシマ ヨウタロウ) 森 島 洋太郎 (平成27年4月)	(カケシタ トモユキ) 掛 下 知行 (現職就任年月)	平成30年3月任期満了のため(30)
学 部 長	(ヨコヤ トモヒサ) 横 谷 智久 (平成27年4月)	(エビス トシミツ) 戎 利光 (平成28年4月)	平成28年3月任期満了のため(28)
学科長等	(ヨコヤ トモヒサ) 横 谷 智久 (平成27年4月)	(エビス トシミツ) 戎 利光 (平成28年4月)	平成28年3月任期満了のため(28)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
 - ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 学士（スポーツ健康科学）	体育関係	4年	70人	- 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70人 70 (-) [-]	- 人 70 (-) [-]	70人 70 (-) [-]	- 人 70 (-) [-]	70人 70 (-) [-]	- 人 70 (-) [-]	70人 70 (-) [-]	- 人 70 (-) [-]	70人 70 (-) [-]	- 人 70 (-) [-]	70人 70 (-) [-]	- 人 70 (-) [-]	1.16倍	1.18倍	
志願者数	120 (-) [-]	- (-) [-]	198 (-) [-]	- (-) [-]	202 (-) [-]	- (-) [-]	226 (-) [1]	- (-) [-]	200 (-) [2]	- (-) [-]	250 (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	113 (-) [-]	- (-) [-]	195 (-) [-]	- (-) [-]	201 (-) [-]	- (-) [-]	224 (-) [1]	- (-) [-]	200 (-) [2]	- (-) [-]	247 (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	92 (-) [-]	- (-) [-]	93 (-) [-]	- (-) [-]	116 (-) [-]	- (-) [-]	115 (-) [0]	- (-) [-]	135 (-) [0]	- (-) [-]	123 (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	78 (-) [-]	- (-) [-]	86 (-) [-]	- (-) [-]	78 (-) [-]	- (-) [-]	85 (-) [0]	- (-) [-]	84 (-) [0]	- (-) [-]	87 (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.11		1.22		1.11		1.21		1.20		1.24				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	78 [-] (-)	- [-] (-)	86 [-] (-)	- [-] (-)	78 [-] (-)	- [-] (-)	85 [-] (-)	- [-] (-)	84 [-] (-)	- [-] (-)	87 [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次			77 [-] (-)	- [-] (-)	83 [-] (-)	- [-] (-)	74 [-] (-)	- [-] (-)	80 [-] (-)	- [-] (-)	83 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					76 [-] (-)	- [-] (-)	81 [-] (-)	- [-] (-)	73 [-] (-)	- [-] (-)	77 [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							76 [-] (-)	- [-] (-)	85 [-] (6)	- [-] (-)	76 [-] (5)	- [-] (-)	
計	78 [-] (-)		163 [-] (-)		237 [-] (-)		316 [-] (-)		322 [-] (6)		323 [-] (5)		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	27 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1名)
平成28年度	163 人	4 人	平成27年度	1 人	0 人	就職(1名)
			平成28年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(3名)
平成29年度	237 人	7 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1名)、進路変更(1名)
			平成29年度	5 人	0 人	除籍(1名)、就学意欲の低下(1名)、就職(1名)、 進路変更(2名)
平成30年度	316 人	12 人	平成27年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(3名)
			平成28年度	2 人	0 人	除籍(1名)、就職(1名)
			平成29年度	1 人	0 人	除籍(1名)
			令和30年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(4名)、進路変更(1名)、その他(1名)
令和元年度	322 人	6 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	2 人	0 人	その他(1名)、就職(1名)
			平成30年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(3名)
			令和元年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1名)
令和2年度	323 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		30 人		30 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{27} = \boxed{3.7} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{163} = \boxed{2.45} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{237} = \boxed{2.95} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{316} = \boxed{3.79} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{322} = \boxed{1.86} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{323} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文社会	哲学入門-人生哲学	1後		2							1
	心理学入門-心のはたらき	1後		2							1
	女性学入門-女性の生き方論	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人と社会	2前		2							1
	法学入門-市民社会と法	2前		2							1
	日本国憲法	2後		2							1
	経済学入門-現代社会と経済	2後		2							1
	マスコミ論-新聞を読み解く力	3前		2							1
	日本文化の歴史	3後		2							1
外国語	比較文化論-世界の文化	3後		2							1
	文学入門-小説・詩の世界	3前		2							1
	小計(12科目)	-									
	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1								2
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1								2
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1								2
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1								2
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2							2
キャリア形成	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2							2
	リスニングⅠ	1前	1								4
	リスニングⅡ	1後	1								4
	TOEICⅠ	2前	2								2
	TOEICⅡ	2後	2								2
	TOEICⅢ	3前		2							2
キャリア形成	TOEICⅣ	3後		2							2
	海外語学研修Ⅰ	1前・後		4							1
	海外語学研修Ⅱ	2前・後		4							1
	海外語学研修Ⅲ	3前・後		4							1
	海外語学研修Ⅳ	4前・後		4							1
	小計(22科目)	-									
	日本語の基礎	1前		2							1
	日本語表現法Ⅰ	1後	2								1
	日本語表現法Ⅱ	2前		2							1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1		1			
キャリア形成	キャリアデザインⅡ	2後	1			1	1				
	キャリアゼミⅠ	1前	1			2		3			
	キャリアゼミⅡ	1後	1			2		3			
	キャリアゼミⅢ	3前	1			3		1			
	キャリアゼミⅣ	3後	1			3		1			
	インターンシップA	3前		2		1					
	インターンシップB	3後		2		1					
	地域共生学	2前		2		1					
	テクニカルライティング	1後	1			1		3			
	プレゼンテーション	1後	1			2		1			
キャリア形成	課題研究	2前	2			6	1	5			
	コンピュータリテラシ	1前	2			2					
	小計(16科目)	-									

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文社会	哲学入門-人生哲学	1後		2							1
	心理学入門-心のはたらき	1後		2							1
	女性学入門-女性の生き方論	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人と社会	2前		2							1
	法学入門-市民社会と法	2前		2							1
	日本国憲法	2後		2							1
	経済学入門-現代社会と経済	2後		2							1
	マスコミ論-新聞を読み解く力	3前		2							1
	日本文化の歴史	3後		2							1
外国語	比較文化論-世界の文化	3後		2							1
	文学入門-小説・詩の世界	3前		2							1
	小計(12科目)	-									
	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1								4
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1								4
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1								3
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1								3
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2							1
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2							1
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2							1
キャリア形成	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2							1
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2							1
	リスニングⅠ	1前	1								4
	リスニングⅡ	1後	1								4
	TOEICⅠ	2前	2								2
	TOEICⅡ	2後	2								2
	TOEICⅢ	3前		2							2
キャリア形成	TOEICⅣ	3後		2							2
	海外語学研修Ⅰ	1前・後		4							1
	海外語学研修Ⅱ	2前・後		4							1
	海外語学研修Ⅲ	3前・後		4							1
	海外語学研修Ⅳ	4前・後		4							1
	小計(22科目)	-									
	日本語の基礎	1前		2							2
	日本語表現法Ⅰ	1後	2								3
	日本語表現法Ⅱ	2前		2							1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1	2	1			
キャリア形成	キャリアデザインⅡ	2後	1			2	1	1			
	キャリアゼミⅠ	1前	1			1	2	1			
	キャリアゼミⅡ	1後	1			1	2	1			
	キャリアゼミⅢ	3前	1			4					
	キャリアゼミⅣ	3後	1			4					
	インターンシップA	3前		2		1					1
	インターンシップB	3後		2		1					
	地域共生学	2前		2			1				
	テクニカルライティング	1後	1			2	1	1			
	プレゼンテーション	1後	1			3	1				
キャリア形成	課題研究	2前	2			7	3	2			
	コンピュータリテラシ	1前	2			2					
	小計(16科目)	-									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
科学基礎	基礎数学A	1前	2								3
	基礎数学B	1前	2								2
	基礎数学AB	1後	2								1
	科学リテラシ	1前	2			1		1			6
	基礎統計学	2前	2				1				
	統計学演習	2後	2					1			
	基礎生物学	1前	2								1
	基礎生命科学	1後	2								1
	基礎健康科学	1後	2			1					
	社会調査論	2後	2								1
	環境・情報倫理	1後	2								1
	小計(11科目)	-									
学部共通科目	地域活性演習基礎	2後	2			1					
	地域活性演習Ⅰ	3前	2					1			
	地域活性演習Ⅱ	3後	2			1					
	地域活性演習Ⅲ	4前	2			1					
	小計(4科目)	-									
専門基礎科目	スポーツ科学概論	1前	2			2	1	4			
	健康科学概論	1前	2			2	1	4			1
	スポーツ哲学	1前	2								1
	スポーツ史	1後	2								1
	スポーツ指導の基礎	1後	2			1					
	スポーツ工学序論	2前	2			1					
	野外スポーツ概論	2後	2					1			
	スポーツ施設論	3後	2			1					
	コンピューティング演習	1後	2			2					
	測定機器の操作	1前	2			1	1				
	実験データ処理	2後	2			1					
	スポーツ運動学	1後	2					1			
	生理学A	1後	2				1				
	生理学B	2後	2			1					
	スポーツバイオメカニクス講義	2前	2					1			
	スポーツバイオメカニクス演習	2後	2					1			
	小計(16科目)	-									
専門応用科目	スポーツ統計学	2前	2					1			
	測定評価	2後	2				1				
	体力測定診断・運動処方	3前	2					1			
	スポーツ生体情報処理	3前	2			1					
	スポーツ生体情報処理演習	3後	2			1					
	スポーツ情報処理演習	3前	2			1					
	コンピュータプログラミング基礎	3後	2			1					
	コンピュータプログラミング応用	4前	2			1					
	フィットネス経営論	3前	2								1
	スポーツ産業論	2前	2								1
	スポーツマーケティング論	2後	2								1
	スポーツメディア論	3後	2								1
	安全管理論	3前	2			1					
	企業インターンシップ	3後	2			1		1			
	スポーツマネジメント	2後	2					1			
	野外スポーツ	3前	1					2			
	スポーツと社会	2前	2								1
	地域とスポーツ	2前	2			1					
	運動指導論Ⅰ	2後	2					1			
	運動指導論Ⅱ	3前	2			1					
	スポーツ心理学	2後	2								1
	スポーツコーチング論	3前	2					1			
	発育発達学	3前	2					1			
	スポーツ医学	3後	2								1
	栄養学	3前	2			1					
	コンディショニング論	3前	2								1
	健康体力学	3前	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
科学基礎	基礎数学A	1前	2			1	1	1			5
	基礎数学B	1前	2								2
	基礎数学AB	1後	2								1
	科学リテラシ	1前	2				2				5
	基礎統計学	2前	2			1					
	統計学演習	2後	2								1
	基礎生物学	1前	2								1
	基礎生命科学	1後	2								1
	基礎健康科学	1後	2			1					
	社会調査論	2後	2								1
	環境・情報倫理	1後	2								2
	小計(11科目)	-									
学部共通科目	地域活性演習基礎	2後	2			1					
	地域活性演習Ⅰ	3前	2			7	4	2			
	地域活性演習Ⅱ	3後	2			7	4	2			
	地域活性演習Ⅲ	4前	2			7	4	2			
	小計(4科目)	-									
専門基礎科目	スポーツ科学概論	1前	2			3	3	1			
	健康科学概論	1前	2			3	3	1			
	スポーツ哲学	1前	2								1
	スポーツ史	1後	2								1
	スポーツ指導の基礎	1後	2			1					
	スポーツ工学序論	2前	2			1					
	野外スポーツ概論	2後	2			1					
	スポーツ施設論	3後	2			1					
	コンピューティング演習	1後	2			1					
	測定機器の操作	1前	2			1	1				
	実験データ処理	2後	2			1					
	スポーツ運動学	1後	2				1				
	生理学A	1後	2					1			
	生理学B	2後	2					1			
	スポーツバイオメカニクス講義	2前	2				1				
	スポーツバイオメカニクス演習	2後	2				2				
	小計(16科目)	-									
専門応用科目	スポーツ統計学	2前	2				1				
	測定評価	2後	2			1					
	体力測定診断・運動処方	3前	2				1				
	スポーツ生体情報処理	3前	2			1					
	スポーツ生体情報処理演習	3後	2			1					
	スポーツ情報処理演習	3前	2			1					
	コンピュータプログラミング基礎	3後	2			1					
	コンピュータプログラミング応用	4前	2								1
	フィットネス経営論	3前	2								1
	スポーツ産業論	2前	2				1				
	スポーツマーケティング論	2後	2				1				
	スポーツメディア論	3後	2								1
	安全管理論	3前	2			1					
	企業インターンシップ	3後	2			1	1	1			
	スポーツマネジメント	2後	2				1				
	野外スポーツ	3前	1			1					
	スポーツと社会	2前	2				1				
	地域とスポーツ	2前	2			1					
	運動指導論Ⅰ	2後	2					1			
	運動指導論Ⅱ	3前	2			1					
	スポーツ心理学	2後	2								1
	スポーツコーチング論	3前	2					1			
	発育発達学	3前	2				1				
	スポーツ医学	3後	2								1
	栄養学	3前	2			1					
	コンディショニング論	3前	2				1				
	健康体力学	3前	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用科目	トレーナー・リハビリテーション演習	4前		2			1				
	学校保健	2後		2		1					
	救急処置	2後		2			1				
	衛生学・公衆衛生学	3後		2		1					
	ライフスタイルと健康	4前		2				1			
	ヘルスプロモーション論	4前		2		1					
	体づくり運動	2前	1					1			
	体カトレーニング	2前	1			1		1			
	陸上	2前		1							1
	水泳	1前	1				1	1			
	ゴール型スポーツA(バスケット)	2後		1							1
	器械体操	2後		1							1
	柔道	2後		1							1
	ゴール型スポーツB(サッカー)	3前		1				1			
	ネット型スポーツA(バドミントン・テニス)	3前		1		1					
全学共通科目	ベースボール型スポーツ	3前		1							1
	ダンス	3後		1							1
	ネット型スポーツB(バレーボール)	3後		1							1
	小計(45科目)	-									
全学共通科目	卒業研究	4通	6			7	1	5			
	小計(1科目)	-									
教職に関する科目	教職論	1前			2						1
	教育原理	2前			2						1
	教育心理学	2後			2						1
	発達心理学	3前			2						1
	教育社会学	2後			2						1
	教育課程論	3後			2						1
	保健体育科教育法Ⅰ	3通		4	2	1	2				
	保健体育科教育法Ⅱ	4通		4	2		1				
	特別活動論	3後			2						1
	教育方法	2後			2						1
	道徳教育	2前			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						1
	学校教育相談Ⅰ	2後			2						1
	学校教育相談Ⅱ	3前			2						1
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教育実習Ⅱ	4前			5						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2			1			1
	体育	3後			2			1			
	小計(18科目)	-									
	合計(145科目)	-									
卒業要件及び履修方法											
教養分野科目 人文社会10単位以上、外国語20単位以上、キャリア形成14単位以上、科学基礎4単位以上を含め48単位以上、専門分野 学部共通科目2単位以上、専門基礎科目14単位以上、専門応用科目9単位以上、全学共通科目6単位以上を含め72単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用科目	トレーナー・リハビリテーション演習	4前		2			1				
	学校保健	2後		2			1				
	救急処置	2後		2			1				
	衛生学・公衆衛生学	3後		2			1				
	ライフスタイルと健康	4前		2			1				
	ヘルスプロモーション論	4前		2			1				
	体づくり運動	2前	1					1			
	体カトレーニング	2前	1					1			1
	陸上	2前		1				1	1		
	水泳	1前	1				1	1			
	ゴール型スポーツA(バスケット)	2後		1							1
	器械体操	2後		1							2
	柔道	2後		1							1
	ゴール型スポーツB(サッカー)	3前		1				1			
	ネット型スポーツA(バドミントン・テニス)	3前		1		1					
全学共通科目	ベースボール型スポーツ	3前		1							1
	ダンス	3後		1							1
	ネット型スポーツB(バレーボール)	3後		1							1
	フィットネス	4前		1				1			
	小計(46科目)	-									
全学共通科目	卒業研究	4通	6			7	4	2			
	小計(1科目)	-									
教職に関する科目	教職論	1前			2						1
	教育原理	2前			2						1
	教育心理学	2後			2						2
	発達心理学	3前			2						1
	教育経営論	2後			2						1
	教育課程論	3後			2						1
	保健体育科教育法Ⅰ	3通		4	4		4				
	保健体育科教育法Ⅱ	4前		4	4		3				
	特別活動論	3後			2						1
	教育方法	2後			2						1
	道徳教育	2前			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						2
	学校教育相談	2後			2						1
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教育実習Ⅱ	4前			5						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
	小計(16科目)	-									
	合計(144科目)	-									
卒業要件及び履修方法											
教養分野科目 人文社会10単位以上、外国語20単位以上、キャリア形成14単位以上、科学基礎4単位以上を含め48単位以上、専門分野 学部共通科目2単位以上、専門基礎科目14単位以上、専門応用科目9単位以上、全学共通科目6単位以上を含め72単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人 文 社 会	哲学入門-人生哲学	1前		2							1
	心理学入門-心のはたらき	1後		2							1
	女性学入門-女性の生き方論	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後		2							1
	人と社会	2前		2							1
	法学入門-市民社会と法	2前		2							1
	日本国憲法	2後		2							1
	経済学入門-現代社会と経済	2後		2							1
	マスコミ論-新聞を読み解く力	3前		2							1
	日本文化の歴史	3後		2							1
	比較文化論-世界の文化	3後		2							1
	文学入門-小説・詩の世界	3前		2							1
	小計(12科目)	-									
外 国 語	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1								4
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1								2
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1								3
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1								3
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2							2
	リスニングⅠ	1前	1								4
	リスニングⅡ	1後	1								4
	TOEICⅠ	2前	2								2
	TOEICⅡ	2後	2								2
	TOEICⅢ	3前		2							2
TOEICⅣ	3後		2							2	
海外語学研修Ⅰ	1前・後		4							1	
海外語学研修Ⅱ	2前・後		4							1	
海外語学研修Ⅲ	3前・後		4							1	
海外語学研修Ⅳ	4前・後		4							1	
	小計(22科目)	-									
キ ャ リ ア 形 成	日本語の基礎	1前		2							3
	日本語表現法Ⅰ	1後	2								4
	日本語表現法Ⅱ	2前		2							2
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1		3			
	キャリアデザインⅡ	2後	1			1	1	2			
	キャリアアゼミⅠ	1前	1			2		3			
	キャリアアゼミⅡ	1後	1			2		3			
	キャリアアゼミⅢ	3前	1			3		2			
	キャリアアゼミⅣ	3後	1			3		2			
	インターンシップA	3前		2		1					
	インターンシップB	3後		2		1					
	地域共生学	2前		2		1					
	テクニカルライティング	1後	1			1		4			
	プレゼンテーション	1後	1			2		2			
	課題研究	2前	2			6	1	6			
	コンピュータリテラシ	1前	2			2					
	小計(16科目)	-									
科 学 基 礎	基礎数学A	1前		2							6
	基礎数学B	1前		2							2
	基礎数学AB	1後		2							1
	科学リテラシ	1前		2		1		1			6
	基礎統計学	2前		2			1				
	統計学演習	2後		2				1			

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人 文 社 会	哲学入門-人生哲学	1前		2							1
	心理学入門-心のはたらき	1後		2							1
	女性学入門-女性の生き方論	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後		2							1
	人と社会	2前		2							1
	法学入門-市民社会と法	2前		2							1
	日本国憲法	2後		2							1
	経済学入門-現代社会と経済	2後		2							1
	マスコミ論-新聞を読み解く力	3前		2							1
	日本文化の歴史	3後		2							1
	比較文化論-世界の文化	3後		2							1
文学入門-小説・詩の世界	3前		2							1	
小計(12科目)	－										
外 国 語	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1								4
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1								2
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1								4
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1								4
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2							2
	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2							1
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2							2
	リスニングⅠ	1前	1								3
	リスニングⅡ	1後	1								3
	TOEICⅠ	2前	2								2
	TOEICⅡ	2後	2								2
	TOEICⅢ	3前		2							2
TOEICⅣ	3後		2							2	
海外語学研修Ⅰ	1前・後		4							1	
海外語学研修Ⅱ	2前・後		4							1	
海外語学研修Ⅲ	3前・後		4							1	
海外語学研修Ⅳ	4前・後		4							1	
小計(22科目)	－										
キ ャ リ ア 形 成	日本語の基礎	1前		2							2
	日本語表現法Ⅰ	1後	2								2
	日本語表現法Ⅱ	2前		2							1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1	1	2			
	キャリアデザインⅡ	2後	1			1	1	2			
	キャリアアゼミⅠ	1前	1			2		3			
	キャリアアゼミⅡ	1後	1			2		3			
	キャリアアゼミⅢ	3前	1			3		2			
	キャリアアゼミⅣ	3後	1			3		2			
	インターンシップA	3前		2		1					
	インターンシップB	3後		2		1					
	地域共生学	2前		2		1					
	テクニカルライティング	1後	1			1		4			
	プレゼンテーション	1後	1			2		2			
	課題研究	2前	2			6	2	5			
コンピュータリテラシ	1前	2			2						
小計(16科目)	－										
科 学 基 礎	基礎数学A	1前		2							6
	基礎数学B	1前		2							2
	基礎数学AB	1後		2							1
	科学リテラシ	1前		2		1		1			6
	基礎統計学	2前		2			1				
	統計学演習	2後		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
科学基礎	基礎生物学	1前		2							1
	基礎生命科学	1後		2							1
	基礎健康科学	1後		2		1					
	社会調査論	2後		2							1
	環境・情報倫理	1後		2							2
	小計(11科目)	－									
学部共通科目	地域活性演習基礎	2後	2			1					
	地域活性演習Ⅰ	3前		2				1			
	地域活性演習Ⅱ	3後		2		1					
	地域活性演習Ⅲ	4前		2		1					
	小計(4科目)	－									
専門基礎科目	スポーツ科学概論	1前	2			2	1	4			
	健康科学概論	1前	2			2	1	4			
	スポーツ哲学	1前		2							1
	スポーツ史	1後		2							1
	スポーツ指導の基礎	1後		2		1					
	スポーツ工学序論	2前	2			1					
	野外スポーツ概論	2後		2				1			
	スポーツ施設論	3後		2		1					
	コンピューティング演習	1後	2			2					
	測定機器の操作	1前		2		1	1				
	実験データ処理	2後		2		1					
	スポーツ運動学	1後	2					1			
	生理学A	1後	2				1				
	生理学B	2後	2			1					
	スポーツバイオメカニクス講義	2前		2				1			
	スポーツバイオメカニクス演習	2後		2				2			
小計(16科目)	－										
専門応用科目	スポーツ統計学	2前		2				1			
	測定評価	2後	2				1				
	体力測定診断・運動処方	3前	2					1			
	スポーツ生体情報処理	3前		2		1					
	スポーツ生体情報処理演習	3後		2		1					
	スポーツ情報処理演習	3前		2		1					
	コンピュータプログラミング基礎	3後		2		1					
	コンピュータプログラミング応用	4前		2		1					
	フィットネス経営論	3前		2							1
	スポーツ産業論	2前		2							1
	スポーツマーケティング論	2後		2							1
	スポーツメディア論	3後		2							1
	安全管理論	3前		2		1					
	企業インターンシップ	3後		2		1		2			
	スポーツマネジメント	2後		2				1			
	野外スポーツ	3前		1				2			
	スポーツと社会	2前	2								1
	地域とスポーツ	2前		2		1					
	運動指導論Ⅰ	2後		2				1			
	運動指導論Ⅱ	3前		2		1					
	スポーツ心理学	2後		2							1
	スポーツコーチング論	3前		2				1			
	発育発達学	3前		2				1			
	スポーツ医学	3後		2							1
	栄養学	3前		2		1					
	コンディショニング論	3前		2				1			1
	健康体力学	3前		2		1					
	トレーナー・リハビリテーション演習	4前		2			1				
	学校保健	2後		2		1					
救急処置	2後		2			1					
衛生学・公衆衛生学	3後		2		1						
ライフスタイルと健康	4前		2				1				
ヘルスプロモーション論	4前		2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
科学 基礎	基礎生物学	1前		2							1
	基礎生命科学	1後		2							1
	基礎健康科学	1後		2		1					
	社会調査論	2後		2							1
	環境・情報倫理	1後		2							2
	小計(11科目)	－									
学部 共通 科目	地域活性演習基礎	2後	2			1					
	地域活性演習Ⅰ	3前		2				1			
	地域活性演習Ⅱ	3後		2		1					
	地域活性演習Ⅲ	4前		2		1					
	小計(4科目)	－									
専門 基礎 科目	スポーツ科学概論	1前	2			2	2	3			
	健康科学概論	1前	2			2	2	3			
	スポーツ哲学	1前		2							1
	スポーツ史	1後		2							1
	スポーツ指導の基礎	1後		2		1					
	スポーツ工学序論	2前	2			1					
	野外スポーツ概論	2後		2				1			
	スポーツ施設論	3後		2		1					
	コンピューティング演習	1後	2			2					
	測定機器の操作	1前		2		1	1				
	実験データ処理	2後		2		1					
	スポーツ運動学	1後	2					1			
	生理学A	1後	2				1				
	生理学B	2後	2			1					
	スポーツバイオメカニクス講義	2前		2				1			
	スポーツバイオメカニクス演習	2後		2				2			
小計(16科目)	－										
専門 応用 科目	スポーツ統計学	2前		2			1				
	測定評価	2後	2				1				
	体力測定診断・運動処方	3前	2				1				
	スポーツ生体情報処理	3前		2		1					
	スポーツ生体情報処理演習	3後		2		1					
	スポーツ情報処理演習	3前		2		1					
	コンピュータプログラミング基礎	3後		2		1					
	コンピュータプログラミング応用	4前		2		1					
	フィットネス経営論	3前		2							1
	スポーツ産業論	2前		2							1
	スポーツマーケティング論	2後		2							1
	スポーツメディア論	3後		2							1
	安全管理論	3前		2		1					
	企業インターンシップ	3後		2		1		2			
	スポーツマネジメント	2後		2				1			
	野外スポーツ	3前		1				2			
	スポーツと社会	2前	2								1
	地域とスポーツ	2前		2		1					
	運動指導論Ⅰ	2後		2				1			
	運動指導論Ⅱ	3前		2		1					
	スポーツ心理学	2後		2							1
	スポーツコーチング論	3前		2				1			
	発育発達学	3前		2			1				
	スポーツ医学	3後		2							
	栄養学	3前		2		1					
	コンディショニング論	3前		2				1			1
	健康体力学	3前		2		1					
	トレーナー・リハビリテーション演習	4前		2			1				
学校保健	2後		2		1						
救急処置	2後		2			1					
衛生学・公衆衛生学	3後		2		1						
ライフスタイルと健康	4前		2				1				
ヘルスプロモーション論	4前		2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 応用 科目	体づくり運動	2前	1					1			
	体カトレーニング	2前	1			1		2			
	陸上	2前		1				1			
	水泳	1前	1				1	1			
	ゴール型スポーツA(バスケット)	2後		1							1
	器械体操	2後		1							1
	柔道	2前		1							1
	ゴール型スポーツB(サッカー)	3前		1				1			
	ネット型スポーツA(バドミントン・テニス)	3前		1		1					
	ベースボール型スポーツ	3前		1							1
全 学 共 通 科 目	ダンス	3後		1							1
	ネット型スポーツB(バレーボール)	3後		1							1
	フィットネス	4前		1				1			
	小計(46科目)	-									
	卒業研究	4通	6			7	1	6			
	小計(1科目)	-									
教 職 に 関 する 科 目	教職論	1前			2						1
	教育原理	2前			2						1
	教育心理学	2後			2						2
	発達心理学	3前			2						1
	教育社会学	2後			2						1
	教育課程論	3後			2						2
	保健体育科教育法Ⅰ	3通	4	2	1	2					
	保健体育科教育法Ⅱ	4前	4	2		1					
	特別活動論	3後			2						1
	教育方法	2後			2						1
	道德教育	2前			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						2
	学校教育相談	2後			2						1
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教育実習Ⅱ	4前			5						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2			1			1
	体育	3後			2			1			
	小計(17科目)	-									
	合計(145科目)	-									
卒業要件及び履修方法											
教養分野科目 人文社会10単位以上、外国語20単位以上、キャリア形成14単位以上、科学基礎4単位以上を含め48単位以上、専門分野 学部共通科目2単位以上、専門基礎科目14単位以上、専門応用科目9単位以上、全学共通科目6単位以上を含め72単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 応用 科目	体づくり運動	2前	1					1			
	体カトレーニング	2前	1			1		2			
	陸上	2前		1				1			
	水泳	1前	1				1	1			
	ゴール型スポーツA(バスケット)	2後		1							1
	器械体操	2後		1							1
	柔道	2前		1							1
	ゴール型スポーツB(サッカー)	3前		1				1			
	ネット型スポーツA(バドミントン・テニス)	3前		1		1					
	ベースボール型スポーツ	3前		1							1
全 学 共 通 科 目	ダンス	3後		1							1
	ネット型スポーツB(バレーボール)	3後		1							1
	フィットネス	4前		1				1			
	小計(46科目)	-									
	卒業研究	4通	6			7	2	5			
	小計(1科目)	-									
教 職 に 関 する 科 目	教職論	1前			2						1
	教育原理	2前			2						1
	教育心理学	2後			2						2
	発達心理学	3前			2						1
	教育社会学	2後			2						1
	教育課程論	3後			2						1
	保健体育科教育法Ⅰ	3通	4	2	1	2					
	保健体育科教育法Ⅱ	4前	4	2		1					
	特別活動論	3後			2						1
	教育方法	2後			2						1
	道德教育	2前			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						2
	学校教育相談	2後			2						1
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教育実習Ⅱ	4前			5						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						1
	小計(17科目)	-									
	合計(145科目)	-									
卒業要件及び履修方法											
教養分野科目 人文社会10単位以上、外国語20単位以上、キャリア形成14単位以上、科学基礎4単位以上を含め48単位以上、専門分野 学部共通科目2単位以上、専門基礎科目14単位以上、専門応用科目9単位以上、全学共通科目6単位以上を含め72単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
人文社会	哲学入門-人生哲学	1後		2							1
	心理学入門-心のはたらき	1後		2							1
	女性学入門-女性の生き方論	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人と社会	2前		2							1
	法学入門-市民社会と法	2前		2							1
	日本国憲法	2後		2							1
	経済学入門-現代社会と経済	2後		2							1
	マスコミ論-新聞を読み解く力	3前		2							1
	日本文化の歴史	3後		2							1
外国語	比較文化論-世界の文化	3後		2							1
	文学入門-小説・詩の世界	3前		2							1
	小計(12科目)	-									
	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1								4
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1								4
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1								3
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1								3
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2							1
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2							1
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2							1
キャリア形成	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2							1
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2							3
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2							1
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2							1
	リスニングⅠ	1前	1								3
	リスニングⅡ	1後	1								3
	TOEICⅠ	2前	2								2
	TOEICⅡ	2後	2								2
	TOEICⅢ	3前		2							2
キャリア形成	TOEICⅣ	3後		2							2
	海外語学研修Ⅰ	1前・後		4							1
	海外語学研修Ⅱ	2前・後		4							1
	海外語学研修Ⅲ	3前・後		4							1
	海外語学研修Ⅳ	4前・後		4							1
	小計(22科目)	-									
	日本語の基礎	1前		2							3
	日本語表現法Ⅰ	1後	2								3
	日本語表現法Ⅱ	2前		2							1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1	2	1			
キャリア形成	キャリアデザインⅡ	2後	1			2	1	1			
	キャリアゼミⅠ	1前	1			2	1	2			
	キャリアゼミⅡ	1後	1			2	1	2			
	キャリアゼミⅢ	3前	1			3	1	1			
	キャリアゼミⅣ	3後	1			3	1	1			
	インターンシップA	3前		2		1					1
	インターンシップB	3後		2		1					
	地域共生学	2前		2		1					
	テクニカルライティング	1後	1			1	1	3			
	プレゼンテーション	1後	1			2	1	1			
キャリア形成	課題研究	2前	2			7	3	3			
	コンピュータリテラシ	1前	2			2					
	小計(16科目)	-									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
人文社会	哲学入門-人生哲学	1後		2							1
	心理学入門-心のはたらき	1後		2							1
	女性学入門-女性の生き方論	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人と社会	2前		2							1
	法学入門-市民社会と法	2前		2							1
	日本国憲法	2後		2							1
	経済学入門-現代社会と経済	2後		2							1
	マスコミ論-新聞を読み解く力	3前		2							1
	日本文化の歴史	3後		2							1
外国語	比較文化論-世界の文化	3後		2							1
	文学入門-小説・詩の世界	3前		2							1
	小計(12科目)	-									
	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1								4
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1								4
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1								3
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1								3
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2							1
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2							1
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2							1
キャリア形成	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2							1
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2							2
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2							3
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2							1
	リスニングⅠ	1前	1								3
	リスニングⅡ	1後	1								3
	TOEICⅠ	2前	2								2
	TOEICⅡ	2後	2								2
	TOEICⅢ	3前		2							2
キャリア形成	TOEICⅣ	3後		2							2
	海外語学研修Ⅰ	1前・後		4							1
	海外語学研修Ⅱ	2前・後		4							1
	海外語学研修Ⅲ	3前・後		4							1
	海外語学研修Ⅳ	4前・後		4							1
	小計(22科目)	-									
	日本語の基礎	1前		2							3
	日本語表現法Ⅰ	1後	2								3
	日本語表現法Ⅱ	2前		2							1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1	2	1			
キャリア形成	キャリアデザインⅡ	2後	1			2	1	1			
	キャリアゼミⅠ	1前	1			1	1	1			
	キャリアゼミⅡ	1後	1			1	1	1			
	キャリアゼミⅢ	3前	1			3	1	1			
	キャリアゼミⅣ	3後	1			3	1	1			
	インターンシップA	3前		2		1					1
	インターンシップB	3後		2		1					
	地域共生学	2前		2		1					
	テクニカルライティング	1後	1			1	1	2			
	プレゼンテーション	1後	1			1	1	1			
キャリア形成	課題研究	2前	2			6	3	2			
	コンピュータリテラシ	1前	2			1					1
	小計(16科目)	-									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
科学基礎	基礎数学A	1前	2								4
	基礎数学B	1前	2								2
	基礎数学AB	1後	2								1
	科学リテラシ	1前	2			1		1			6
	基礎統計学	2前	2			1					
	統計学演習	2後	2				1				
	基礎生物学	1前	2								1
	基礎生命科学	1後	2								1
	基礎健康科学	1後	2			1					
	社会調査論	2後	2								1
	環境・情報倫理	1後	2								2
	小計(11科目)	-									
学部共通科目	地域活性演習基礎	2後	2			1					
	地域活性演習Ⅰ	3前	2					1			
	地域活性演習Ⅱ	3後	2			1					
	地域活性演習Ⅲ	4前	2			1					
	小計(4科目)	-									
専門基礎科目	スポーツ科学概論	1前	2			3	2	2			
	健康科学概論	1前	2			3	2	2			1
	スポーツ哲学	1前	2								1
	スポーツ史	1後	2								1
	スポーツ指導の基礎	1後	2			1					
	スポーツ工学序論	2前	2			1					
	野外スポーツ概論	2後	2					1			
	スポーツ施設論	3後	2			1					
	コンピューティング演習	1後	2			2					
	測定機器の操作	1前	2			2					
	実験データ処理	2後	2			1					
	スポーツ運動学	1後	2				1				
	生理学A	1後	2			1					
	生理学B	2後	2			1					
	スポーツバイオメカニクス講義	2前	2				1				
	スポーツバイオメカニクス演習	2後	2				2				
	小計(16科目)	-									
専門応用科目	スポーツ統計学	2前	2				1				
	測定評価	2後	2				1				
	体力測定診断・運動処方	3前	2				1				
	スポーツ生体情報処理	3前	2			1					
	スポーツ生体情報処理演習	3後	2			1					
	スポーツ情報処理演習	3前	2			1					
	コンピュータプログラミング基礎	3後	2			1					
	コンピュータプログラミング応用	4前	2			1					
	フィットネス経営論	3前	2								1
	スポーツ産業論	2前	2								1
	スポーツマーケティング論	2後	2								1
	スポーツメディア論	3後	2								1
	安全管理論	3前	2			1					
	企業インターンシップ	3後	2			1	1	1			
	スポーツマネジメント	2後	2					1			
	野外スポーツ	3前	1					2			
	スポーツと社会	2前	2								1
	地域とスポーツ	2前	2			1					
	運動指導論Ⅰ	2後	2					1			
	運動指導論Ⅱ	3前	2			1					
	スポーツ心理学	2後	2								1
	スポーツコーチング論	3前	2					1			1
	発育発達学	3前	2				1				
	スポーツ医学	3後	2								1
	栄養学	3前	2			1					
	コンディショニング論	3前	2				1				
	健康体力学	3前	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
科学基礎	基礎数学A	1前	2								4
	基礎数学B	1前	2								2
	基礎数学AB	1後	2								1
	科学リテラシ	1前	2			1		1			6
	基礎統計学	2前	2			1					
	統計学演習	2後	2				1				
	基礎生物学	1前	2								1
	基礎生命科学	1後	2								1
	基礎健康科学	1後	2			1					
	社会調査論	2後	2								1
	環境・情報倫理	1後	2								2
	小計(11科目)	-									
学部共通科目	地域活性演習基礎	2後	2			1					
	地域活性演習Ⅰ	3前	2					1			
	地域活性演習Ⅱ	3後	2			1					
	地域活性演習Ⅲ	4前	2			1					
	小計(4科目)	-									
専門基礎科目	スポーツ科学概論	1前	2			3	2	1			1
	健康科学概論	1前	2			3	2	1			1
	スポーツ哲学	1前	2								1
	スポーツ史	1後	2								1
	スポーツ指導の基礎	1後	2			1					
	スポーツ工学序論	2前	2			1					
	野外スポーツ概論	2後	2					1			
	スポーツ施設論	3後	2			1					
	コンピューティング演習	1後	2			1					
	測定機器の操作	1前	2			2					
	実験データ処理	2後	2			1					
	スポーツ運動学	1後	2				1				
	生理学A	1後	2					1			
	生理学B	2後	2					1			
	スポーツバイオメカニクス講義	2前	2				1				
	スポーツバイオメカニクス演習	2後	2				2				
	小計(16科目)	-									
専門応用科目	スポーツ統計学	2前	2				1				
	測定評価	2後	2				1				
	体力測定診断・運動処方	3前	2				1				
	スポーツ生体情報処理	3前	2			1					
	スポーツ生体情報処理演習	3後	2			1					
	スポーツ情報処理演習	3前	2								1
	コンピュータプログラミング基礎	3後	2								
	コンピュータプログラミング応用	4前	2								1
	フィットネス経営論	3前	2								1
	スポーツ産業論	2前	2								1
	スポーツマーケティング論	2後	2								1
	スポーツメディア論	3後	2								1
	安全管理論	3前	2			1					
	企業インターンシップ	3後	2			1	1	1			
	スポーツマネジメント	2後	2								
	野外スポーツ	3前	1					1			
	スポーツと社会	2前	2								1
	地域とスポーツ	2前	2			1					
	運動指導論Ⅰ	2後	2					1			
	運動指導論Ⅱ	3前	2			1					
	スポーツ心理学	2後	2								1
	スポーツコーチング論	3前	2								1
	発育発達学	3前	2				1				
	スポーツ医学	3後	2								1
	栄養学	3前	2			1					
	コンディショニング論	3前	2				1				
	健康体力学	3前	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 応用 科目	トレーナー・リハビリテーション演習	4前		2		1					
	学校保健	2後		2		1					
	救急処置	2後		2		1					
	衛生学・公衆衛生学	3後		2		1					
	ライフスタイルと健康	4前		2				1			
	ヘルスプロモーション論	4前		2		1					
	体づくり運動	2前	1				1				
	体カトレーニング	2前	1			1	2				
	陸上	2前		1			1				
	水泳	1前	1			1		1			
	ゴール型スポーツA(バスケット)	2後		1							1
	器械体操	2後		1							2
	柔道	2後		1							1
	ゴール型スポーツB(サッカー)	3前		1			1				
	ネット型スポーツA(バドミントン・テニス)	3前		1		1					
	ベースボール型スポーツ	3前		1							1
全学 共通 科目	ダンス	3後		1							1
	ネット型スポーツB(バレーボール)	3後		1							1
	フィットネス	4前		1				1			
	小計(46科目)	-									
	卒業研究	4通	6			8	3	3			
	小計(1科目)	-									
教職 に 関 する 科目	教職論	1前			2						1
	教育原理	2前			2						1
	教育心理学	2後			2						2
	発達心理学	3前			2						1
	教育社会学	2後			2						1
	教育課程論	3後			2						1
	保健体育科教育法Ⅰ	3通		4	3	1	1				1
	保健体育科教育法Ⅱ	4前		4	2		1				1
	特別活動論	3後			2						1
	教育方法	2後			2						1
	道徳教育	2前			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						2
	学校教育相談	2後			2						1
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教育実習Ⅱ	4前			5						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2			1			1
全学 共通 科目	体育	3後			2			1			
	小計(17科目)	-									
	合計(145科目)	-									
	卒業要件及び履修方法										
	教養分野科目 人文社会10単位以上、外国語20単位以上、キャリア形成14単位以上、科学基礎4単位以上を含め48単位以上、専門分野 学部共通科目2単位以上、専門基礎科目14単位以上、専門応用科目9単位以上、全学共通科目6単位以上を含め72単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))										

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 応用 科目	トレーナー・リハビリテーション演習	4前		2		1					
	学校保健	2後		2		1					
	救急処置	2後		2		1					
	衛生学・公衆衛生学	3後		2		1					
	ライフスタイルと健康	4前		2				1			
	ヘルスプロモーション論	4前		2		1					
	体づくり運動	2前	1				1				
	体カトレーニング	2前	1			1	2				
	陸上	2前		1			1				
	水泳	1前	1			1		1			
	ゴール型スポーツA(バスケット)	2後		1							1
	器械体操	2後		1							2
	柔道	2後		1							1
	ゴール型スポーツB(サッカー)	3前		1			1				
	ネット型スポーツA(バドミントン・テニス)	3前		1		1					
	ベースボール型スポーツ	3前		1							1
全学 共通 科目	ダンス	3後		1							1
	ネット型スポーツB(バレーボール)	3後		1							1
	フィットネス	4前		1				1			
	小計(46科目)	-									
	卒業研究	4通	6			7	3	2			
	小計(1科目)	-									
教職 に 関 する 科目	教職論	1前			2						1
	教育原理	2前			2						1
	教育心理学	2後			2						2
	発達心理学	3前			2						1
	教育経営論	2後			2						1
	教育課程論	3後			2						1
	保健体育科教育法Ⅰ	3通		4	3	1					1
	保健体育科教育法Ⅱ	4前		4	2						1
	特別活動論	3後			2						1
	教育方法	2後			2						1
	道徳教育	2前			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						2
	学校教育相談	2後			2						1
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教育実習Ⅱ	4前			5						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
全学 共通 科目	体育	3後									
	小計(16科目)	-									
	合計(144科目)	-									
	卒業要件及び履修方法										
	教養分野科目 人文社会10単位以上、外国語20単位以上、キャリア形成14単位以上、科学基礎4単位以上を含め48単位以上、専門分野 学部共通科目2単位以上、専門基礎科目14単位以上、専門応用科目9単位以上、全学共通科目6単位以上を含め72単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・教員新規採用の理由により、「キャリアデザインⅠ」の専任教員の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「キャリアゼミⅢ」「キャリアゼミⅣ」「プレゼンテーション」「スポーツバイオメカニクス演習」「企業インターンシップ」「体力トレーニング」の専任教員の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「テクニカルライティング」の専任教員の配置を「講師3」から「講師4」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「コンディショニング論」「陸上」「フィットネス」の専任教員の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「卒業研究」の専任教員の配置を「講師5」から「講師6」に変更。

【平成29年度】

- ・職位変更の理由により、「キャリアデザインⅠ」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「課題研究」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師6」から「講師5」に変更。
- ・職位変更の理由により、「統計学演習」「スポーツ統計学」「体力測定診断・運動処方」「発育発達学」「体づくり運動」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「スポーツ科学概論」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師4」から「講師3」に変更。
- ・職位変更の理由により、「卒業研究」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師6」から「講師5」に変更。

【平成30年度】

- ・職位変更の理由により、「キャリアデザインⅠ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「キャリアデザインⅡ」「プレゼンテーション」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「キャリアゼミⅠ」「キャリアゼミⅡ」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「キャリアゼミⅢ」「キャリアゼミⅣ」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「テクニカルライティング」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師4」から「講師3」に変更。
- ・職位変更の理由により、「課題研究」の専任教員の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授3」、「講師5」から「講師3」に変更。
- ・職位変更の理由により、「健康科学概論」「スポーツ科学概論」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「測定機器の操作」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「生理学A」「測定評価」「トレーナー・リハビリテーション演習」「救急処置」「基礎統計学」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授2」から「准教授3」、「講師5」から「講師3」に変更。
- ・職位変更の理由により、「保健体育科教育法Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・職位変更の理由により、「体力トレーニング」の専任教員の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「スポーツ運動学」「スポーツバイオメカニクス講義」「コンディショニング論」「陸上」「ゴール型スポーツ(サッカー)」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・職位変更の理由により、「スポーツバイオメカニクス演習」「体力トレーニング」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・職位変更の理由により、「企業インターンシップ」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」に変更。

【令和元年度】

- ・専任教員の辞任により、「キャリアゼミⅠ」「キャリアゼミⅡ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「テクニカルライティング」の専任教員の配置を「講師3」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「プレゼンテーション」「コンピュータリテラシ」「コンピューティング演習」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「課題研究」の専任教員の配置を「教授7」から「教授6」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「健康科学概論」「野外スポーツ」の専任教員の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当者変更により、「生理学A」「生理学B」の専任教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「スポーツ情報処理演習」「コンピュータプログラミング基礎」「コンピュータプログラミング応用」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「スポーツマネジメント」「スポーツコーチング論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」の専任教員の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授8」から「教授7」、「講師3」から「講師2」に変更。

【令和2年度】

- ・専任教員の辞任により、「キャリアゼミⅠ」「キャリアゼミⅡ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「キャリアゼミⅢ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「キャリアゼミⅣ」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「地域共生学」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「テクニカルライティング」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「プレゼンテーション」の専任教員の配置を「教授1」から「教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「課題研究」の専任教員の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の変更により、「コンピュータリテラシ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「基礎数学A」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「科学リテラシ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の変更により、「統計学演習」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の変更により、「地域活性演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授0」から「教授7」、「准教授0」から「准教授4」、「講師1」から「講師2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「地域活性演習Ⅱ」、「地域活性演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授7」、「准教授0」から「准教授4」、「講師0」から「講師2」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「スポーツ科学概論」、「健康科学概論」の専任教員の配置を「准教授2」を「准教授3」に変更。
- ・担当教員の変更により、「野外スポーツ」、「野外スポーツ概論」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「測定機器の操作」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「スポーツ情報処理演習」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「コンピュータプログラミング基礎」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「スポーツ産業論」、「スポーツマーケティング論」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「スポーツマネジメント」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「スポーツと社会」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「スポーツコーチング論」の専任教員の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「ライフスタイルと健康」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「体力トレーニング」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「陸上」の専任教員の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「水泳」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「卒業研究」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「保健体育科教育法Ⅰ」の専任教員の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員新規採用の理由により、「保健体育科教育法Ⅱ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	93 科目	18 科目	145 科目	34 科目 [-]	94 科目 [1]	17 科目 [△1]	145 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{145} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成26年)	1. 地域スポーツ指導者コースでは、「ライフステージや対象者の目的に応じた運動プログラムを立てるための知識や、運動指導に必要な技術」を修得するための教育課程を編成している。その目的が十分に達成されるよう、実技科目には、例えばエアロビクスやウォーキングや健康運動プログラムを企画するための実技などの地域住民を対象とした内容を増やし、教育課程の充実を図ること。	授業科目「フィットネス（4年前期・選択・1単位）」を追加した。 フィットネス（実技）については、留意事項で指摘された「ライフステージや対象者の目的に応じた運動プログラムを立てるための知識や、運動指導に必要な技術」を身に付けさせるための具体的な方法を学ぶための実技科目として追加した科目であり、 1. 健康と全身持久力の関連性を理解する。 2. 全身持久力を高めるための運動プログラムが作成できる理論や考え方を身につける。 3. 全身持久力の測定方法の原理とデータの解釈方法を理解する。 を学習到達目標としている。特に、全身持久力（最大酸素摂取量＝肺・心臓・筋活動の総合指標）に焦点を当て、実際にトレーニング（実技）を行い、フィットネスを高めるためのトレーニング方法及び評価方法を身に付ける（シラバス参照）。 本授業科目を追加することによって、青少年から高齢者まで、幅広い年代に適応可能な有酸素運動の実践方法を身に付けることが可能になり、地域のスポーツ指導に必要な知識・技能を習得できると考えられることにより、同コースの教育課程の充実を図った。	留意事項 履行済

	2. 「保健体育科教育法Ⅱ」について、その授業内容から教育実習前に履修すべき内容であるため、配当年次を適切に修正すること。また、教育実習の経験を踏まえた授業の内容は「教職実践演習（中・高）」と重複しているため、当該科目の位置付け及び授業内容を検討し、適切な内容の授業を実施すること。		4年前期に「保健体育科教育法Ⅱ」、4年後期に「教職実践演習（中・高）」と開講期を改め、重複を解消。 学修の流れとしては、3年次の「保健体育科教育法Ⅰ」にて教育実習で必要とされる指導案の作成・模擬授業などの演習を行い、4年前期に教育実習を受講。教育実習での直前学習また実習後の総括もふまえ「保健体育科教育法Ⅱ」を受講し、指導力の基礎を固める。 後期の「教職実践演習（中・高）」にて教職課程での学びを復習・総括する。 3年通年「保健体育科教育法Ⅰ」 4年前期「教育実習Ⅰ」 4年前期「保健体育科教育法Ⅱ」 4年後期「教職実践演習（中・高）」 で開講。	
認可時 (平成26年)	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	本学では、定年の60歳に達する専任教員については、教育研究の継続性及び学園の向上発展等に鑑み、再雇用を行っている。同学科の設置認可申請において、適切な年齢構成を考慮した教員配置の適正化と教員組織編成の将来構想を明確にするようにとの意見を受け、平成27年4月就任の教員1名を採用するとともに完成年度以降の教員組織編成の計画を立てている。 同学科の専任教員については、同学科の教育目的を達成するため、完成年度に至るまで雇用を継続することとし、計画した。(平成27年度の専任教員数13名) しかしながら、同学科の専任教員の高齢化は明らかであることから、当初の計画には無かったが、教員の新規採用を前倒しし、平成28年4月就任の教員1名を新規採用し、定年年齢を超える専任教員の割合の僅かな改善に努めた。(平成28年からの専任教員数14名) 完成年度を迎え、平成30年度末を以って、年齢が60歳代の専任教員1名が退職する予定であることから、若手教員を新たに新規採用する予定をしている。 留意事項に対するこれまでの履行状況については、僅かずつではあるものの改善を図っている。	履行済

設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年)	スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	本学では、定年の60歳に達した教員については、教育研究の継続性及び学園の向上発展等に鑑み、「学校法人金井学園特任教育職員規程」に基づき、再雇用を行っております。 スポーツ健康科学科では、平成28年4月に新たに20歳代、40歳代の教員を各々1名ずつ採用しました。この為、若干、定年年齢を超える専任教員数の割合は改善されました。 教員組織編成の将来構想に基づき、教育研究の継続性及び適切な教員組織の構成になるよう、特定の範囲の年齢に著しく偏ることがないように努めていきます。	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	本学では、定年の60歳に達した教員については、教育研究の継続性及び学園の向上発展等に鑑み、「学校法人金井学園特任教育職員規程」に基づき、再雇用を行っております。 ご指摘の点については、十分認識しており、平均年齢の引下げや若手教員・中堅教員の配置に努めることとしてます。設置認可申請時に策定した教員組織編成の将来構想に基づき、教育研究の継続性及び適切な教員組織の構成になるよう、特定の範囲の年齢に著しく偏ることがないように努めていきます。	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	本学では、定年の60歳に達した教員については、教育研究の継続性及び学園の向上発展等に鑑み、再雇用を行っております。 近年の教員採用における教員配置においては、平均年齢の引下げや若手教員・中堅教員の配置に努めることとしています。設置認可申請時に策定した教員組織編成の将来構想に基づき、教育研究の継続性及び適切な教員組織の構成になるよう、特定の範囲の年齢に著しく偏ることがないように努めていきます。	履行済	

設置計画履行状況 調査時 (令和元年)	定年規定に定める退職 年齢を超える専任教員 数の割合が高いことから、 定年規程の趣旨を踏ま えつつ適切な教員組織 の編制に努めること。	改善意見	教員組織編成について は、完成年度以降退職予 定の教員がおり、専任教 員の採用が必要であるこ とから、教育研究水準の 維持及び継続性を踏まえ 、教員の専門分野、職位 、年齢構成のバランスに 十分に配慮して、若手教 員の採用を進めていきま す。 本年度の9月には、30歳 代と50歳代の教員をそ れぞれ1名ずつ採用する 予定（AC教員審査の書類 提出済）であり、定年年 齢を超える専任教員数の 割合は、若干改善される 見込みです。	履行済	
設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	定年規程に定める退職 年齢を超える専任教員 数の割合が高いことか ら、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編成の将来構想を 策定し、着実に実行す ること。	指摘事項 (改善)	教員組織編成について は、完成年度以降に退職 予定の教員がおり、専任 教員の採用が必要である ことから、教育研究水準 の維持及び継続性を踏ま え、教員の専門分野、職 位、年齢構成のバランス に十分に配慮して、若手 教員の採用を進めていき ます。 令和元年9月には、30歳 代と50歳代の教員をそ れぞれ1名ずつ採用した が、令和2年3月末で退 職年齢を超える専任教員 2名が退職したため、令 和2年4月50歳代と60 歳代の教員をそれぞれ1 名ずつ採用しました。そ の結果、およそ14.3ポ イント改善しました。	履行済	

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
—	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学にFD・SD推進委員会（学部・大学院共通）を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD・SD推進委員会は、教員及び職員から選出された委員によって構成され、原則月1回の開催を行い、構成員のほぼ全教職員が出席している。

c 委員会の審議事項等

②aの実施内容に関する協議等を実施し、審議内容の記録を学内ホームページで公開している。

② 実施状況

a 実施内容

(1) 教職員説明会の開催

(2) 授業公開と見学・懇談会

(3) FDシンポジウムの開催

(4) 新任教員のための研修会

(5) 授業評価アンケート

(6) オフィスアワーの実施

(7) シャトルノートの実施

(8) 他大学（県内）FD関連委員会との交流

(9) 教員ハンドブックの作成

(10) FDコミュニケーションズの発行

b 実施方法

(1) 毎年5月頃に教職員を対象に実施

(2) 学期毎に公開する授業を選定し、見学後に懇談会を実施

(3) 学期毎に1回の開催

(4) 毎年4月に新任教員を対象に開催

(5) 学期毎に学生にアンケートを実施

(6) 全教員が教員毎に設定

(7) 各教員が講義毎に実施

(8) 随時実施、相互研修方式

(9) 全教員に配布

(10) 全教職員に配布

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全教員が実施内容に賛同し、ほぼ全ての教員が取り組んでいる。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

(2) 授業公開

授業公開後は、ピアレビューにより討論会を開き、授業改善に役立てる取組となっている。懇談内容については、学内ネットワーク上に公開している。

(3) FDシンポジウム

教育改善に関する講演のほか、大学教育に関連するテーマを題材にパネリストによる討論会及び質疑応答等がなされている。

(5) 授業アンケート

授業前半での最初のアンケートを参考にして、後半部でもアンケートをとり、授業改善の検証を行いつつ取り組んでいる。

(7) シャトルノート

実施は(5)のアンケート実施を補完するものであり、最初の授業から最後まで毎回授業内容の評価〔結果〕を学生の記録からリアルタイムで読み取ることができる。従って、毎回授業を改善できるような取組になっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年、全教員が全ての授業で前後期年2回実施している。授業前半での最初のアンケートを参考にして、後半でもアンケートをとり、授業改善に反映できる仕組みになっている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全教員に全員の結果を配布し、FD・SD推進委員会において内容の検討改善を図っている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況(各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む)

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成27年の改組再編から完成年度の平成30年に向けて、スポーツ健康科学部では、建学の精神及び大学の使命・目的に沿った教育課程に基づく教育機能を十分に発揮させるための取組みがなされている。

また、学生の学年歴や教育ニーズ、地域社会の要請に応えるよう、教育・研究活動が行われており、志願者の増加、定員の充足に繋がっている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年3月26日 公表（予定）

b 公表方法

・大学ホームページ上において公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年10月に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和2年 10月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。